

明治グループの新型コロナワクチンへの取り組み

明治グループでは、新型コロナウイルス感染症に対する不活化ワクチンと次世代 mRNA ワクチン（レプリコン）の開発を進めています。公的機関やアカデミア、パートナー企業とも連携の上、早期供給に向けて取り組みを推進し、感染症領域のリーディングカンパニーとして社会的責任を果たしてまいります。

● 不活化ワクチン^{※1}「KD-414」の開発状況

- ・ 事業子会社であるKMバイオロジクス（株）とMeiji Seika ファルマ（株）は、不活化ワクチンの開発を進めています。
- ・ 第3相臨床試験（国際共同、成人40歳以下）を2022年4月に、また国内小児第3相臨床試験（6か月以上12歳未満）を2023年1月に、それぞれ開始しました。
- ・ 承認に向けた最終段階となる変異株（XBB1.5）対応の国内小児第3相臨床試験（6か月以上13歳未満）を2023年12月に開始しました。

※1 不活化ワクチンとは、大量に培養されたウイルスや細菌からウイルス粒子や細菌の菌体を集めて精製した後、加熱やホルマリン等の薬剤を用いて処理し、感染力や毒力をなくした病原体やその成分で作ったワクチンです。

詳細につきましては、以下ホームページもご確認ください。

KMバイオロジクス（株）

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への取り組み」

<https://www.kmbiologics.com/sustainability/covid-19/>

明治ホールディングス（株）

「ネクストストーリーズ／新型コロナ“不活化ワクチン”への期待」

<https://www.meiji.com/stories/4.html>

「パイプライン」

<https://www.meiji.com/innovation/pipeline/>

● 次世代 mRNA ワクチン（レプリコン）^{※1}「コスタイベ筋注用」の開発状況

- ・ Meiji Seika ファルマ（株）は、新型コロナウイルス感染症に対する次世代 mRNA ワクチン（レプリコン）「コスタイベ筋注用」（開発コード「ARCT-154」）について、2023年11月に「SARS-CoV-2による感染症の予防」を適応とした成人の初回免疫および追加免疫における国内製造販売承認を取得しました。
- ・ 2023年9月より、起源株およびオミクロン BA.4-5 株に対応する2価レプリコンワクチンの追加免疫国内第3相臨床試験（成人）を開始しています。来年の秋冬接種に向け、最新の流行株に適応したワクチンの早期実用化を目指しています。

※1 レプリコンワクチンは、接種後に抗原タンパクをコードする mRNA が細胞内で複製され、持続的に抗原タンパクがつくられるため、少ない接種量でワクチンの効果が長く持続することが期待されます。

以上